

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)パロー京都伏見店	階数	2
建設地	京都府京都市伏見区下鳥羽澁女町	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	0 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,640 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年6月 0.0	評価の実施日	2013年11月1日
敷地面積	3,375 m ²	作成者	梶田光雄
建築面積	2,267 m ²	確認日	2013年11月1日
延床面積	2,339 m ²	確認者	梶田光雄

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

□建設 □修繕・更新・解体 □通用 □オンサイト □オフサイト

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 地域の環境に配慮した、建物計画としました。	その他 0	
Q1 室内環境 建物用途がスーパーマーケットであり、売場の快適性に配慮しました。	Q2 サービス性能 建物利用者の利便性を考慮しました。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地周囲に植栽帯を設けます。
LR1 エネルギー 太陽光発電を設置します。	LR2 資源・マテリアル 建物の内装材、家具等はアレルギー物質を含まない材料を使います。	LR3 敷地外環境 空調室外機、冷蔵室外機は低騒音型とし、排気フードに脱臭装置を設置します。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される